

大分大学トピックス

教員就職率及び正規教員就職率で 4年連続全国1位！

文部科学省が発表した「国立の教員養成大学・学部(教員養成課程)の大学別就職状況」の、令和5年3月卒業生の教員就職率(正規+臨時)及び正規教員就職率において、大分大学が4年連続全国1位となりました。

これは、文部科学省が国立の教員養成大学・学部(教員養成課程)44大学・学部の大学別就職状況を調査し毎年発表するもので、本学教育学部は、教員就職率(77.1%)及び正規教員就職率(70.8%)が、令和2年3月～令和4年3月卒業生に引き続き、全国の国立教員養成系学部・大学の中で全国1位となりました。

本学教育学部は、安定して全国トップの教員就職率を維持しています。

大学別正規教員就職状況(教員養成課程)上位5大学

卒業生に対する 教員就職率(正規+臨時)			卒業生に対する 正規教員就職率*		
	令和4年 3月卒業生	令和5年 3月卒業生		令和4年 3月卒業生	令和5年 3月卒業生
1	大 分 (75.5%)	大 分 (77.1%)	1	大 分 (65.5%)	大 分 (70.8%)
2	福岡教育 (72.4%)	鳴門教育 (76.6%)	2	長 崎 (59.1%)	福岡教育 (62.4%)
3	広 島 (70.4%)	福岡教育 (74.1%)	3	福岡教育 (58.1%)	長 崎 (61.9%)
4	愛知教育 (68.7%)	上越教育 (71.3%)	4	広 島 (57.9%)	広 島 (59.6%)
5	長 崎 (67.7%)	兵庫教育 (70.7%)	5	愛知・上越教育 (57.2%)	佐 賀 (59.3%)

※文部科学省報道発表資料より算出

4年ぶりに制限のない学園祭を実施

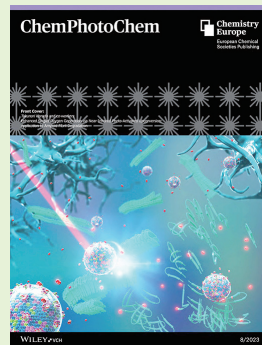
11月3日～5日、旦野原キャンパスで、学園祭が開催されました。

4年ぶりの模擬店の出店、ダンス、バンド、吹奏楽の演奏等、様々なサークルによるステージを繰り広げ、期間中、約9,000人が来場し、賑わいを見せました。



国際誌の表紙に選ばれる！

工学研究科応用化学コース修了生(2023年3月 修士修了)の石橋康平さんと北島浩将さん(大賀・原田研究室所属)のアミロイド線維分解の論文が、WILEYが発行する国際誌であるChemPhotoChem誌のCover Pictureに選ばれました。



令和5年度 理工学部・工学研究科の学生が 学会やシンポジウム等で各賞を受賞しました。

第30回 燃料電池シンポジウム

優秀発表賞を受賞

2023年5月25日受賞

工学研究科博士前期課程
1年 岩並 海翔さん



第60回 化学関連支部合同九州大会

(電気化学分野)

優秀発表賞を受賞

2023年7月1日受賞

工学研究科博士前期課程
1年 永吉 史明さん



第93回 マリンエンジニアリング学 術講演会学術講演会優秀講演賞を受賞

2023年 9月19日～21日開催

工学研究科・機械エネルギー工学コース博士前期
課程1年 津田 真希さん



令和5年度 日本AEM (電磁力電磁現象学術・技術・応用) 学会技術賞を受賞

2023年11月27日発表

理工学部理工学科電気エネルギー・電子
工学プログラムの榎
田 雄二教授と工学
研究科電気電子コース
博士前期課程2年の
矢野 智大さん



2023年 繊維学会年次大会で優秀 ポスター発表賞を受賞

2023年6月15日発表

工学研究科応用化学コース1年の江口
康弘さん(檜垣研究室所属)

第60回 化学関連支部合同九州大会で 高分子・繊維部門ポスター賞を受賞

2023年7月1日発表

工学研究科応用化学コース1年の江口
康弘さん(檜垣研究室所属)

令和5年開催の マグネティックス研究会で 電気学会 基礎・材料・共通部門 マグネティックス技術委員会 研究奨励賞を受賞

2024年2月13日受賞

工学研究科電気電子コース博士前期課程
2年の矢野 智大さん(榎田研究室)

2023年度(第76回) 電気・情報関係学会九州支部連合 大会連合大会講演奨励賞を受賞

2023年12月1日受賞

工学研究科知能情報システム工学コース
1年の蘭 敬太さん
理工学部知能情報システムコース4年の
江藤 陸玖さん

大分大学同窓会連合会役員

役員名	氏 名	選 出 母 体 等
会 長	秦 政 博	豊友会会長
副 会 長	戸 高 孝	翔工会会長
理 事	秦 政 博	豊友会会長(教育学部)
	三 浦 洋 一	四極会会長(経済学部)
	高 倉 健	玉樹会会長(医学部医学科)
	廣 田 美 咲	桜樹会会長(医学部看護学科)
	戸 高 孝	翔工会会長(理工学部)
	安 東 千 秋	九峰会会長(福祉社会科学部)
監 事	上 杉 奈 菜	福蓮会会長(福祉健康科学部)
	廣 瀬 祐 宏	大分大学社会連携担当理事
	高 野 浩 子	四極会副会長
	松 尾 孝 美	翔工会副会長

大分大学同窓会連合会名誉会長及び顧問

	氏 名	選 出 母 体 等
名誉会長	園 田 和 孝	元会長(元豊友会会長)
顧 問	北 野 正 剛	大分大学長

(令和6年6月1日現在)

大分大学同窓会連合会 機関紙 No.10

令和6年7月1日発行

【事務局】

大分大学研究推進部産学連携課内

〒870-1192 大分市大字旦野原700番地 TEL:097-554-7513/FAX:097-554-7740

E-mail:dosoren@oita-u.ac.jp HP:https://www.alumni.oita-u.ac.jp/



【巻頭言】「唇齒輔車」の交わりを

本会は4学部・2学科・1研究科の同窓会連合体組織です。その内、最も古くは明治27年(大分県師範学校同窓会)に遡りますが、以来、母校の変遷・進展と共に大正(四極会)、昭和(玉樹会・翔工会)、平成(桜樹会・九峰会)、令和(福蓮会)にかけて、各同窓会が結成されました。ちなみに昨年時点の総会員数は4万3千人余を数えます。

今年は本連合会が誕生して9年目、コロナ禍によって3年間活動休止という、やむを得ない事態が齎されましたが、昨年より本来の活動に復すことが出来ました。

本会の目的は会員相互の交流・親睦・連携と母校への連携・協力です。それぞれは創立時期と母体は異なりますが、合して滔々とした本流となり勢を増すことが、目的達成への道筋です。「唇齒輔車」の例えに倣って一層の和協を願うところです。各位の大いなるお力添えに期待し、益々のご清祥と母校の発展を祈念します。

※「唇齒輔車」:唇と歯、頬骨(軸)とあごの骨(車)とのように密接な関係。
互いに持ちつ持たれつの関係、助け合う関係を喻える。

大分大学同窓会連合会 会長 秦 政 博(令和6年5月記)



大分大学ホームカミングデー2024(速報)



- 1 日 時 令和6年11月4日(月:振替休日)14:30～18:30 大学開放イベント・学園祭も同時開催
2 会 場 第一大講義室および大分大学学生交流会館「B-Forêt」内特設会場
3 次 第 特別講演会 講師 本学同窓生(未定)講師調整中
第1部<交流会(B-Forêt A会場)>・学長挨拶 ・同窓会連合会会長挨拶
・各学部等からの現状報告 各同窓会からの近況報告
第2部<懇親会(B-Forêt B会場)>・現役学生によるパフォーマンス
※3,000円の会費制
※同窓生と各同窓会との相互交流
※大学HPにて随時情報を更新していきます。

● 申込フォーム

「大分大学ホームカミングデー 2024」の事前申込用の QR コードになります。
(スマートフォンのカメラ機能でご利用いただけます。)

参加を希望される方はできる限り 1 次締切までに申込をお願いします。

・1次締切 令和6年10月9日(水)

・最終締切 令和6年10月28日(月)

ご不明な点がございましたら、大分大学同窓会連合会事務局
(097-554-7513) までお問い合わせください。



メールによる受信確認が必要な場合
(メールアドレスの入力要)



メールによる受信確認が不要な場合
(メールアドレスの入力不要)

◆「未来へ」

豊友会

私は現在、教職37年目。昨年度から、大分市立東陽中学校に校長として勤務しています。私が教職員を志した理由の一つは、「サッカー」を子どもたちに教えたいという想いでした。選手としては、在学時に九州の大学リーグに所属し、そこで力を試すことができました。1部リーグから2部リーグへの降格もあり、キャプテンとしてはとても苦い思い出もあります。

卒業後、勤務校で指導者として九州・全国大会等に出場することもできました。また、大分県トレーニングセンターの活動に携わり、海外（ベルギー）遠征や国体女子の監督、またトレセン委員長などを務め多くのことを学ぶことができました。現在もトレセンスタッフとして、選手の指導を行っています。

「学ぶことを止めたら、教えることを辞めなければならない！」教える立場の者が忘れてはならない言葉です。捉え方を変えれば、「学ぶ姿勢を持ち続けることができれば、教え続けることができる！」とも言えます。

これから先、「これまで多くの経験をさせてくれた『サッカー』に、できるだけ長く恩返ししていく！」そのような夢が実現できればと、今、考えています。“人生に夢があるのではなく、夢が人生を創る”のですから…。

大分市立東陽中学校 校長 一法師 直喜(昭和63年卒)



◆「四極会100周年」に向けて

四極会

令和4年6月経済学部100周年の記念イベントと共に第10代四極会会長に三浦洋一(大24回)が就任し、新体制がスタートしました。

令和5年度は、特に、現役学生に対し、同窓会組織「四極会」の存在を知らしめることに力を入れ、従来から行っている寄附講義や顕著な実績を挙げた卒業生に対する四極会会長賞の授与とは別に、新たにビジネスプラン助成金制度や社会貢献活動助成金制度を設け、学生の創造性や行動力を支援する企画を実施してきました。四極会会長賞では個人で4名、ゼミ等グループで3グループを表彰し、ビジネスプラン助成金制度では4名(3グループ)を認定し助成金を授与しました。

令和6年度は、令和7年に迎える「四極会100周年」の前哨戦として現役学生への支援をさらに拡大し、学生の自治組織「思学会」との協賛を図っていきます。また、コロナで停滞していた支部組織の活性化を図るべく、支部総会の開催を推奨し、女性会員の参加や初参加者また卒業後5年以内の若い参加者に対して助成金を出す等の施策を設け、支部活動の活性化を側面から支援していきます。

四極会事務局長 大島 英明



◆ グローカル展開

玉樹会

2019年COVID19発生からあっという間の5年。多大な犠牲を払いながらもワクチンなど医薬品の開発や社会システムの改善などの未来への遺産も生まれました。時期を同じくして大分大学グローバル感染症センターが2021年に開設され大分の地で感染症研究、人材育成が推進されることが期待されます。とはいえ、まだCOVID19を過去形で語れる段階にはなく救急現場に時折搬送されてくる重症コロナ肺炎を見るにつけ予防、また個人そして集団免疫力をつけることの重要性を日々感じております。

もう一つ感染パンデミックという大災害を経験して感じたことは、ローカルでの関係各機関の連携の重要性です。とりわけ大学、医師会、医療機関、そして自治体との顔の見える関係、システムの構築が、これから起こるパンデミックや南海トラフ地震などの自然災害への地域免疫力をつけることになるはずです。開学50周年も控え、医学部の進める人材国際交流、世界的医療技術開発の推進と合わせて、地域医療活性化を推進すべく、2024年働き方改革の真ただ中ではありますが、同窓生を中心としてさらに知恵をしぼり地域のために力を合わせる必要があると考えます。

玉樹会理事 添田 徹



◆ 地区別交流会に参加して

桜樹会

令和5年12月16日、大分大学と同窓会連合会との地区別交流会2023 in北九州に参加しました。北九州で生活を始め9年が経とうとしていますが、同窓生と出会う機会などほとんどなく、大学や同窓会の存在が自分自身の中で薄れていたように思います。そんな中交流会に参加し、大分大学の近況や同じ土地で各同窓生が様々な活躍をしていることを知り、とても刺激を受けた日となりました。

私自身は大分で臨床、教育と経験をし、北九州ではその経験を活かしながら看護師として充実した日々を送っていました。3人目の出産を機に退職し、現在は育児に専念をしています。今後、ライフスタイルの変化に応じながら再び看護職として働くことを視野に入れ、毎日を過ごしています。

同窓会に理事として携わっていた頃は同窓会を身近に感じていましたが、理事を辞め、大分を離れてからは遠い存在となっていました。しかし、今回の参加で同窓会の意義や大切さを改めて感じることができました。多くの同窓生が同窓会を身近に感じ、同窓会がより発展することを願い、自分にできることは何か考えていきたいと思います。

桜樹会 藤井 淳恵(10期生)



◆ 産学官で開発したモータ鉄損可視化装置による測定方法がJISとして制定されました

翔工会

大分大学が特許の権利を保有する、モータ等の電磁製品に使用される磁性材料に生じる磁氣的損失強度を赤外線カメラによる熱画像から算出し、測定する手法がJIS C 2541「赤外線カメラによる鉄心表面の損失分布の熱的測定法」として2023年12月20日に制定されました。

この先駆けとなる研究は2008年の大分県地域結集型研究開発プログラムで、特許化され大分大学が権利を保有します。その後も産学官連携事業として大分大学、大分県産業科学技術センター、株式会社ブライトックが研究・開発を進め、商品化に至りました。

今回のJIS化にあたっては、測定装置と測定方法を持つブライトックが経済産業省「新市場創造型標準化制度」を活用し、一般財団法人日本規格協会が事務局、特許権利者の大分大学理工学部の戸高教授が原案作成分科会主査、大分県産業科学技術センターが標準化活用支援パートナー機関として原案作成の支援をいただきました。

JIS化することにより、本装置および測定方法の客観的証明を得ることができ、今後幅広く利用されることが期待されます。

(写真：JIS制定を受け大分県知事を表敬訪問したときの記念撮影)
株式会社ブライトック 技術部 相原 茂(2013年 工学研究科物質生産工学専攻修了)



◆ 繋がり始めた一年

福祉健康科学部同窓会『福蓮会』の『蓮』の字には、同窓生や在学生の繋がりや結びつきを深めていくという願いが込められています。

同窓会が発足した2020年は、新型コロナウイルスの感染が拡大し始めた時期であり、縦・横の繋がりを持つことが困難な状況が続きました。福蓮会としても身動きが取れず、当初予定していたような体制の整備ができませんでした。

昨年はコロナが5類感染症に移行し、福蓮会もようやく繋がり始めました。定期的に役員会を行い、話し合いを重ね、第1回福蓮会総会を開催することができました。オンライン開催となりましたが、同窓生と初めて繋がることができました。また、同窓会連合会として、ホームカミングデーや地区別同窓会にも初めて参加させていただきました。歴史ある同窓会の先輩方と繋がることができ、同窓会活動を改めて考える機会となりました。

『蓮』の花は、泥の中で育ち、綺麗な花を咲かせます。福蓮会の設立当初は、まさに泥の中でした。まだ泥の中で模索している段階ですが、同窓会活動が同窓生や在学生の繋がりをつくる会となり、綺麗な花を咲かせられるように、努めていきたいと思います。

会長 上杉 奈菜



◆ 九峰会の近況

九峰会

九峰会は福祉社会科学研究科と福祉健康科学研究科福祉専攻コースの修了生によって構成されています。2002(平成14)年に福祉社会科学研究科が開設されたときに入学したのは14名でした。大学・専門学校教員、行政マン、保健師、病院MSW、税理士などの専門資格保持者や民間企業からも研究科の門をくぐってきた人がいてとても多彩な雰囲気でした。すでに専門職資格を有する人が自らの現場での実践を福祉理論を学び直す中で理論化し再構築するという明確な目的を持っていたことが1期生の特徴でした。そして研究科創設2年目の1期生修了にあわせて同窓会が発足しました。

それから18年が経過して福祉社会科学研究科は福祉健康科学健康科へと衣替えをしています。この間に研究科を修了した人たちは研究科に入学してくる前よりもキャリアアップを果たしている人が多いということがいえると思います。

これまでの修了生は大分県内だけでなく広く関西圏でも大学教員として活躍しています。多くは医療機関や高齢者施設の相談員となっていて経営の中核を担っている修了生もいます。また、高齢社会を支えていくには福祉的視点からのアプローチを理解する必要があるとして入学してきた法律実務家もいて多方面で活躍中です。

会長 安東 千秋



＼4年ぶりに開催！／

大分大学ホームカミングデー

11月5日に旦野原キャンパスで4年ぶりに開催し、県内外から多くの同窓生が集まり、恩師や旧友と交流を深めました。交流会では、各学部の現状報告や各同窓会の近況報告等が行われ、相互理解を深めることができました。また、懇親会では、同窓生と現役生の交流として、学生サークルによる合唱、吹奏楽の演奏、よさこい踊りのパフォーマンスが披露され、会場は大きく盛り上がり、参加者全員が楽しい時を共有することができました。



大分大学と同窓会連合会との地区別交流会

12月16日に北九州市の「リーガロイヤルホテル小倉」にて、4年ぶりに地区別交流会を開催し、福岡県内外から多くの同窓生が集まり、恩師や旧友と交流を深めました。

交流会では、各学部長から学部の現状を踏まえた挨拶、同窓生から近況報告がなされ、参加者は熱心に耳を傾けていました。

その後、会場を移しての懇親会では世代や出身学部を超え、親交を深め大盛況のうちに幕を閉じることができました。

